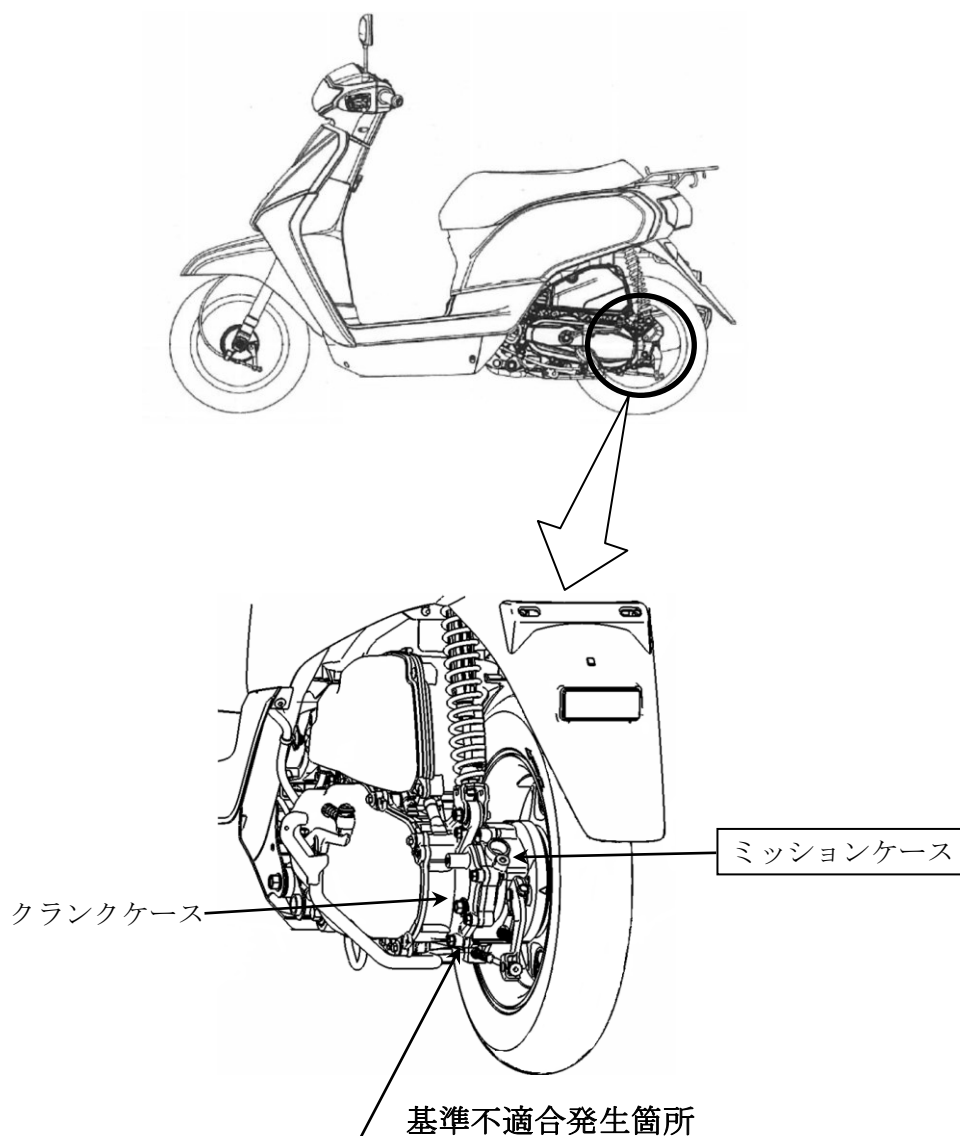


改善箇所説明図



原動機において、クランクケースとミッションケースの製造工程での管理方法が不適切なため、当該ケースの合わせ面の密着性が不足し、ミッションオイルが漏れることがある。そのため、オイルの潤滑不良で異音が発生し、そのまま使用を続けるとケース内のベアリングが破損して、最悪の場合、走行中に後輪がロックし、転倒するおそれがある。

改善の内容

全車両、ミッションオイル量を測定し、基準未満の場合はミッションケースを良品に交換するとともに、ベアリング等を新品に交換する。基準以上の場合はケースの合わせ面を清掃し、ガスケットを塗布して再組付けを行う。

なお、部品の準備に時間を要することから、不具合内容を周知し、準備でき次第、改めて連絡する。

注： は点検結果により、交換する部品を示す。

識別：車台番号打刻部付近に白色の識別ラベルを貼付する。